



文化施設の更なる充実と スポーツの復興を

[秋田市観光クチコミ大使]
高橋裕次郎法律事務所 代表弁護士 高橋 裕次郎 氏

現在、東京で法律事務所を開業しています。いわゆる司法関係者であり、実業界に身を置いておりませんから、「活力ある秋田」すなわち、秋田の活性化とはあまり縁がないようにも思われがちです。しかし、客観的な関連性はともかく、気持ちの上では故郷秋田は私にとってかけがえのないものであり、それゆえ、是非とも活力ある秋田になってほしいと常々願い、思っていました。

秋田市観光クチコミ大使として

そのような気持ちから、秋田市観光クチコミ大使就任への打診があったときは、即座に承諾をしました。ただ、就任した直後、果たして私に何が出来るのだろうと考えてみました。結論は、沢山の聴衆を前に秋田のよさを語る機会などはあまりないことから、「クチコミ」の文字通り地道に秋田の良さを語り、秋田への関心が高まれば良いということでした。従って、観光大使3年目となりますが、日々機会がある毎にクチコミで、同業の友人、知人や顧問先の人達に秋田の良さを語り続けております。また、秋田出張の折には、秋田の名産品を買って帰り、東京の人達に味わってもらっています。

文化施設のより一層の充実を

以前、秋田地裁にて行われた裁判に、九州小倉出身の弁護士と同道したことがありました。裁判が予定より早く終わったため、彼はどこか観光したいと言い出しました。そこで千秋公園を案内しましたが、千秋公園は私にとっても久しぶりの訪問でした。私が秋田に在住していた頃に比べ、千秋公園には、往時の城屋が建築されていたり、記念館も立派に建っていて、より整備されたことが十分に窺えました。彼曰く「郷里の小倉公園(小倉城址)よりずっといい。広いし、美しい」とのことでした。

しかし、私としては、千秋公園を更によいものとし、観光の一つの目玉にならないかと考えています。千秋公園はつつじが美しく咲いていた記憶がありますが、その花をもっと種類も量も多くして咲き誇らせるとか、近在の美術館の展示をより魅力的なものとするなど、千秋公園のみならず、その周辺の文化施設を充実させることによって、文化観光都市の仲間入りが出来るような気がするのです。

また、視線を移せば、太平山麓スポーツ(文化)施設などはどうでしょうか。

スポーツ秋田の復興を

昨年はラグビーワールドカップで日本代表が大活躍をし、ラグビーブームが起きています。言うまでもなく我が秋田県はラグビー王国と言われた時代がありました。学業教育においては、秋田県は昨年度も全国のトップクラスを維持しています。しかし、野球やラグビー、サッカーなど、かつては全国レベルのスポーツ競技が今一つ奮わないのが残念でなりません。

学業における成果は、おそらく関係者が創意工夫をし、営々と築いてきた賜物と思われれます。それならば、その英知と情熱そして忍耐力をもってして、今後はスポーツの分野においても再び秋田県人の底力を示し、秋田の多方面での活性化をより推進し、実現してほしいと心から願うものであります。

■略歴

- 1950年 新潟県新潟市生まれ(父の転勤のため)
- 1969年 秋田高校卒業
- 1974年 早稲田大学法学部卒業
- 1978年 辰巳法律研究所入社
- 1990年 弁護士登録 現在に至る。